



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月28日

上場会社名 ハウス食品株式会社
 コード番号 2810 URL <http://housefoods.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

(氏名) 浦上 博史

(氏名) 大澤 善行

TEL 03-5211-6039

(百万円未満四捨五入)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	168,719	△2.3	11,297	△1.1	11,747	△3.0	6,526	6.2
22年3月期第3四半期	172,704	△1.1	11,422	5.7	12,107	5.9	6,144	10.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	59.81	—
22年3月期第3四半期	55.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	233,881	182,254	77.7	1,703.09
22年3月期	231,927	182,628	78.6	1,660.57

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 181,830百万円 22年3月期 182,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
23年3月期	—	11.00	—		
23年3月期(予想)				11.00	22.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	217,000	△1.6	10,300	△6.1	11,200	△8.1	4,900	1.7	45.90

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年3月期3Q | 106,765,422株 | 22年3月期 | 110,878,734株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年3月期3Q | 596株 | 22年3月期 | 1,112,105株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年3月期3Q | 109,099,260株 | 22年3月期3Q | 109,767,945株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・その他、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P.4「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15
4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)	16
(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)	16
(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)	18
【第3四半期累計期間】 (参考) (個別)	18
【第3四半期会計期間】 (参考) (個別)	20
5. 補足情報	22
(1) 業績の状況	22
(2) 連結損益計算書の状況	23
(3) 連結貸借対照表の状況	24
(4) 連結キャッシュ・フローの状況	24
(5) 通期目標	25
(6) 設備投資の状況	26
(7) 減価償却費の状況	26
(8) 主なグループ会社の状況	26
(9) 主要経営指標等	27

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な円高のなか企業収益回復の動きは鈍く、景気は足踏み状態が続いております。生活関連分野では、消費マインドの冷え込みからお客さまの節約志向・選別志向は一段と強まり、デフレ傾向が進行する厳しい環境下にありました。

このような状況のもと、当社グループは、第三次中期計画の2年目にあたる当連結会計年度を、中期計画の成否を決める重要な1年と位置づけ、「利益重視」「新しい需要の創造」の2つの施策を軸とした企業活動を推し進めております。

売上面におきましては、「ウコンの力」シリーズを中心とする健康食品やスパイス製品が順調であったほか、子会社ハウスウェルネスフーズ(株)の飲料製品が堅調に推移しました。しかしながら、昨年5月にミネラルウォーター事業を売却したことや、カレー・シチュー製品が猛暑の影響を受け夏場の売上が伸びなかったこと等から、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,687億19百万円、前年同期比2.3%の減収となりました。

また、利益面では、引き続きコストダウン活動に努めましたものの、売上が減少したこと等から、営業利益は112億97百万円、前年同期比1.1%の減益、経常利益は117億47百万円、前年同期比3.0%の減益、四半期純利益は投資有価証券評価損が減少したこと等から65億26百万円、前年同期比6.2%の増益となりました。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントを従来の「食料品」「運送・倉庫業他」の2事業区分から、「香辛・調味加工食品事業」「健康食品事業」「海外事業」「運送事業他」の4事業区分に変更しております。

セグメントの業績は次の通りであります。

<香辛・調味加工食品事業>

カレー製品は、主力のルウ製品「バーモントカレー」「ジャワカレー」が比較的底堅い動きを示しましたものの、「こくまるカレー」が低価格帯製品との競争激化により低調な売上となりました。また、前年好調であった「カレー鍋つゆ」が、鍋つゆメニューの多様化のなか苦戦を強いられました。加えて、レトルト製品「咖喱屋カレー」が、前期の新型インフルエンザ流行による備蓄需要の反動もあり軟調に推移したことから、全体では前年同期を下回る結果となりました。

スパイス製品は、新製法を採用した「ねりスパイス」や、「洋風スパイス」が引き続きお客さまから大きなご支持をいただき、増収となりました。

シチュー製品は、新製品「ふうふうシチュー」が着実に市場に定着しましたが、残暑の影響でシーズンインの秋口の需要が盛りあがり欠けるなか、既存の「シチューミクス」「北海道シチュー」の売上が伸び悩み、全体としては減収となりました。

カップタイプのスープ製品「スープdeおこげ」は、厳しい価格競争のなか低調に推移しました。

スナック製品は、「とんがりコーン」が堅調な動きを示し、前年同期実績を確保しました。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は982億98百万円、前年同期比2.0%の減収、営業利益は98億12百万円、前年同期比4.8%の減益となりました。

<健康食品事業>

健康食品は、前期発売の「ウコンの力スーパー」が好調な売上を示したことに加え、朝の素早い水分補給に適したウコンウォーター「ウコンの力モーニングレスキュー」や、飲みやすいスティックタイプの「ウコンの力顆粒スーパー」を発売するなど、「ウコンの力」シリーズの拡充に努めました結果、増収となりました。

ハウスウェルネスフーズ(株)の健康食品事業は、「レモンウォーター」が前年を割り込んだ状況でしたが、「ビタミンレモン」のバラエティ製品「C1000 ビタミンレモンコラーゲン」が着実に売上が拡大したほか、「C1000 リフレッシュタイム」が好調であったこと等が寄与し、前年同期を上回りました。

ダイレクト事業では、食事代替製品とユーザーサポートがセットになったダイエットプログラム「ニュートリシステムJーダイエット」が、テレビコマーシャルの出稿等による新規顧客の獲得に努めましたが、目標を下回る結果となりました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は404億92百万円、前年同期比5.8%の増収、営業利益は10億46百万円、前年同期比29.9%の増益となりました。

<海外事業> (現地通貨ベース)

米国の大豆事業は、東部地区を中心に新たなユーザーの開拓を進めたほか、豆腐製品の受託生産が増加したこと等から、好調に推移しました。

中国の加工食品事業は、中国国家体育総局訓練局とのタイアップによる広告活動と連動した店頭での販促活動が奏功したことに加え、業務用ルーカレー製品の拡大に注力しました結果、増収となりました。

カレーレストラン事業につきましては、米国で新規出店予定の遅れがありましたものの既存店舗が順調であったことや、中国・台湾・韓国で新規出店を進め売上拡大を図りましたことから、いずれも増収となりました。

以上の結果、円ベースでは、海外事業の売上高は79億57百万円、前年同期比8.0%の増収、営業利益は4億11百万円、前年同期比5.5%の増益となりました。

<運送事業他>

子会社ハウス物流サービス(株)の運送・倉庫事業は、当社ミネラルウォーター事業譲渡に伴う影響があったものの、グループ外企業からの物流業務の受託が好調であったことから、前年同期実績を確保しました。

当セグメントに含めております「六甲のおいしい水」は、事業譲渡を行いました結果、大幅な減収となりました。

以上の結果、運送事業他の売上高は219億72百万円、前年同期比17.8%の減収、営業利益は13百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下の通りであります。

総資産は2,338億81百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億54百万円の増加となりました。

流動資産は、債券の償還や1年超の債券および自己株式の取得等により有価証券・現金及び預金がそれぞれ減少した一方、受取手形及び売掛金が増加したことなどから、21億49百万円増加の1,046億56百万円となりました。固定資産は、債券の取得等により投資有価証券が増加した一方、ミネラルウォーター事業の譲渡により有形固定資産が減少したことや、のれんの償却により無形固定資産が減少したことなどから、1億95百万円減少の1,292億25百万円となりました。

負債は516億27百万円となり、前連結会計年度末に比べて23億28百万円の増加となりました。

流動負債は、未払金が減少した一方、支払手形及び買掛金が増加したことなどから、26億50百万円増加の419億25百万円となりました。固定負債は、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴い資産除去債務が増加した一方、退職給付引当金・リース債務などが減少したことなどから、3億22百万円減少の97億1百万円となりました。

純資産は、四半期純利益により利益剰余金が増加した一方、自己株式の取得・消却により利益剰余金・自己株式がそれぞれ減少したことや、為替換算調整勘定・その他有価証券評価差額金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて3億74百万円減少の1,822億54百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の78.6%から77.7%となり、1株当たり純資産は1,660円57銭から1,703円09銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年10月29日発表の業績予想からの変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用の算定方法

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は8百万円、税金等調整前四半期純利益は185百万円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は279百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,472	17,914
受取手形及び売掛金	47,290	38,039
有価証券	27,407	31,803
商品及び製品	5,135	6,477
仕掛品	959	966
原材料及び貯蔵品	2,661	2,939
繰延税金資産	2,964	2,769
その他	1,773	1,604
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	104,656	102,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,005	20,387
機械装置及び運搬具(純額)	7,618	9,000
土地	24,121	27,007
リース資産(純額)	4,697	4,876
建設仮勘定	321	624
その他(純額)	745	913
有形固定資産合計	55,507	62,808
無形固定資産		
のれん	3,098	6,190
ソフトウェア	2,580	2,694
ソフトウェア仮勘定	59	298
その他	213	229
無形固定資産合計	5,950	9,411
投資その他の資産		
投資有価証券	57,444	46,394
長期貸付金	268	280
繰延税金資産	342	365
長期預金	2,400	2,100
前払年金費用	4,936	5,581
その他	2,618	2,723
貸倒引当金	△241	△242
投資その他の資産合計	67,768	57,201
固定資産合計	129,225	129,420
資産合計	233,881	231,927

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,660	18,989
短期借入金	546	592
リース債務	362	353
未払金	11,972	12,505
未払法人税等	2,864	2,592
役員賞与引当金	50	77
債務保証損失引当金	—	92
その他	4,471	4,075
流動負債合計	41,925	39,276
固定負債		
リース債務	4,333	4,506
長期未払金	670	663
繰延税金負債	2,183	2,258
退職給付引当金	1,764	2,028
役員退職慰労引当金	—	26
資産除去債務	280	—
その他	472	542
固定負債合計	9,701	10,023
負債合計	51,627	49,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,868	23,868
利益剰余金	147,300	148,494
自己株式	△1	△1,326
株主資本合計	181,116	180,985
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,366	2,582
為替換算調整勘定	△1,652	△1,292
評価・換算差額等合計	714	1,290
少数株主持分	425	353
純資産合計	182,254	182,628
負債純資産合計	233,881	231,927

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	172,704	168,719
売上原価	92,146	89,952
売上総利益	80,558	78,767
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	9,041	8,492
運送費及び保管費	4,957	4,804
販売手数料	3,862	3,467
販売促進費	24,008	23,354
給料手当及び賞与	9,075	9,530
役員賞与引当金繰入額	58	60
役員退職慰労引当金繰入額	19	—
減価償却費	899	954
のれん償却額	3,091	3,091
賃借料	1,012	1,019
試験研究費	2,921	2,789
その他	10,192	9,910
販売費及び一般管理費合計	69,136	67,470
営業利益	11,422	11,297
営業外収益		
受取利息	246	308
受取配当金	210	252
持分法による投資利益	226	290
その他	155	156
営業外収益合計	837	1,005
営業外費用		
支払利息	30	26
為替差損	85	481
その他	37	49
営業外費用合計	152	556
経常利益	12,107	11,747

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	45	30
移転補償差益	204	—
持分変動利益	—	51
債務保証損失引当金戻入額	—	92
その他	13	11
特別利益合計	262	184
特別損失		
固定資産売却損	—	47
固定資産除却損	250	81
投資有価証券評価損	841	6
会員権評価損	59	3
減損損失	7	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	177
その他	70	30
特別損失合計	1,227	344
税金等調整前四半期純利益	11,142	11,587
法人税等	4,957	5,115
少数株主損益調整前四半期純利益	—	6,472
少数株主利益又は少数株主損失(△)	42	△53
四半期純利益	6,144	6,526

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	59,946	59,146
売上原価	31,531	31,169
売上総利益	28,415	27,977
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,001	2,734
運送費及び保管費	1,592	1,553
販売手数料	1,341	1,238
販売促進費	8,407	8,057
給料手当及び賞与	3,041	3,026
役員賞与引当金繰入額	19	21
役員退職慰労引当金繰入額	4	—
減価償却費	310	325
のれん償却額	1,030	1,030
賃借料	341	347
試験研究費	959	941
その他	3,493	3,248
販売費及び一般管理費合計	23,538	22,522
営業利益	4,877	5,455
営業外収益		
受取利息	75	140
受取配当金	21	15
持分法による投資利益	79	103
その他	60	51
営業外収益合計	236	310
営業外費用		
支払利息	8	7
為替差損	119	222
その他	9	31
営業外費用合計	137	260
経常利益	4,976	5,505

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	42	29
移転補償差益	204	—
投資有価証券評価損戻入益	—	467
その他	3	4
特別利益合計	249	500
特別損失		
固定資産売却損	—	38
固定資産除却損	89	27
投資有価証券評価損	841	6
会員権評価損	13	0
その他	12	1
特別損失合計	956	72
税金等調整前四半期純利益	4,270	5,934
法人税等	1,885	2,508
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,425
少数株主利益又は少数株主損失(△)	70	△20
四半期純利益	2,315	3,445

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,142	11,587
減価償却費	4,491	4,201
のれん償却額	3,091	3,091
減損損失	7	—
持分法による投資損益(△は益)	△226	△290
投資有価証券評価損益(△は益)	841	6
会員権評価損	59	3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	43	1
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△21	△28
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△16	△26
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△259	△264
受取利息及び受取配当金	△456	△560
支払利息	30	26
為替差損益(△は益)	64	180
会員権売却損益(△は益)	4	—
固定資産売却損益(△は益)	△43	17
固定資産除却損	250	81
売上債権の増減額(△は増加)	△9,619	△9,310
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,595	1,600
仕入債務の増減額(△は減少)	2,616	3,416
未払賞与の増減額(△は減少)	△320	△265
その他の資産の増減額(△は増加)	△497	500
その他の負債の増減額(△は減少)	△414	△63
小計	12,363	13,904
利息及び配当金の受取額	750	848
利息の支払額	△32	△24
法人税等の支払額	△5,332	△4,925
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,750	9,802

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,100	△925
定期預金の払戻による収入	60	812
有価証券の取得による支出	△1,800	—
有価証券の売却による収入	3,400	4,600
有形固定資産の取得による支出	△2,410	△2,191
有形固定資産の売却による収入	63	44
無形固定資産の取得による支出	△596	△419
投資有価証券の取得による支出	△4,621	△13,584
投資有価証券の売却による収入	2,100	1,000
会員権の売却による収入	13	—
子会社出資金の取得による支出	—	△60
関係会社株式の取得による支出	△45	△75
事業譲渡による収入	—	5,300
貸付けによる支出	△35	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,972	△5,499
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,170	968
短期借入金の返済による支出	△2,170	△968
リース債務の返済による支出	△266	△273
自己株式の取得による支出	△3	△3,980
配当金の支払額	△2,321	△2,325
少数株主からの払込みによる収入	—	61
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,591	△6,518
現金及び現金同等物に係る換算差額	△80	△339
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	107	△2,553
現金及び現金同等物の期首残高	41,680	44,570
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,787	42,017

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

(単位：百万円)

	食料品	運送・倉庫業 他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	163,645	9,059	172,704	—	172,704
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	10,212	10,212	(10,212)	—
計	163,645	19,271	182,916	(10,212)	172,704
営業利益	13,896	526	14,422	(3,000)	11,422

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

(単位：百万円)

	食料品	運送・倉庫業 他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	56,672	3,274	59,946	—	59,946
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,354	3,354	(3,354)	—
計	56,672	6,629	63,301	(3,354)	59,946
営業利益	5,587	249	5,836	(959)	4,877

(注) 1. 事業区分は、製品の種類・性質の類似性をもとに区分しております。

2. 各事業の主な製品

(1) 食料品 …………… 食品、飲料、レストラン

(2) 運送・倉庫業他 …… 運送・倉庫業等

3. すべての営業費用は各セグメントに配分されているため、配賦不能営業費用はありません。

4. 「その他の事業」として認識しております食品分析事業及び保険代理業等につきましては、その重要性が僅少でありますので、運送・倉庫業他に含めて記載しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業戦略においては、市場の伸びが見込める領域で、グループ成長を牽引する事業を『成長ドライバー』、強みを活かして収益の維持・拡大を図る事業を『収益ドライバー』と位置づけ、それぞれの事業領域の役割・機能を明確にしたうえで、新たな成長シナリオを構築しております。具体的には、「健康食品事業」・「ダイレクト（通販）事業」・「海外事業」を『成長ドライバー』とし、重点的に事業投資を行うことで事業の拡大をめざす一方、「香辛・調味加工食品事業」および「業務用事業」を『収益ドライバー』として、事業の深堀と進化を図っております。

従って、当社はこれら事業領域別のセグメントを基礎として、「香辛・調味加工食品事業」、「健康食品事業」、「海外事業」、「運送事業他」の4つを報告セグメントとしております。

「香辛・調味加工食品事業」は、国内における香辛・調味加工食品および業務用製品の製造販売を行っております。「健康食品事業」は、国内における健康食品の製造販売およびダイレクト（通販）事業を行っております。「海外事業」は、海外における豆腐等の製造販売およびレストラン経営ならびに香辛・調味加工食品等の輸出販売を行っております。「運送事業他」は、運送・倉庫業、総菜等の製造、グループ内経理・人事・情報システム・庶務業務のシェアードサービス事業、食品分析事業等を行っております。なお、平成22年5月31日付で譲渡いたしましたミネラルウォーター事業に関しましては、当連結事業年度開始日から譲渡までの期間における売上高および利益を「運送事業他」に含めております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	香辛・調味加工 食品事業	健康食品事業	海外事業	運送事業他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	98,298	40,492	7,957	21,972	168,719	—	168,719
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	8,995	8,995	△8,995	—
計	98,298	40,492	7,957	30,968	177,715	△8,995	168,719
セグメント利益	9,812	1,046	411	13	11,282	15	11,297

(注) 1 セグメント利益の調整額15百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	香辛・調味加工 食品事業	健康食品事業	海外事業	運送事業他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	35,977	13,616	2,494	7,058	59,146	—	59,146
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	3,070	3,070	△3,070	—
計	35,977	13,616	2,494	10,128	62,216	△3,070	59,146
セグメント利益	4,623	484	118	231	5,456	△1	5,455

(注) 1 セグメント利益の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(参考)

「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)に準拠して作成した前第3四半期連結累計期間および前第3四半期連結会計期間のセグメント情報は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	香辛・調味加工 食品事業	健康食品事業	海外事業	運送事業他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	100,345	38,272	7,368	26,719	172,704	—	172,704
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	8,698	8,698	△8,698	—
計	100,345	38,272	7,368	35,418	181,402	△8,698	172,704
セグメント利益 又は損失(△)	10,311	805	390	△75	11,431	△9	11,422

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額△9百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	香辛・調味加工 食品事業	健康食品事業	海外事業	運送事業他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,631	12,557	2,265	8,494	59,946	—	59,946
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	2,965	2,965	△2,965	—
計	36,631	12,557	2,265	11,459	62,912	△2,965	59,946
セグメント利益 又は損失(△)	4,421	340	149	△27	4,883	△6	4,877

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額△6百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年10月29日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結会計期間において自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結会計期間において自己株式が3,978百万円増加しております。

また、平成22年12月17日開催の取締役会決議に基づき、平成22年12月28日付で4,113,312株の自己株式の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結会計期間において自己株式が5,305百万円、利益剰余金が5,305百万円減少しております。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が147,300百万円、自己株式が1百万円となっております。

4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(注) この四半期財務諸表 (個別) は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位: 百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,333	15,488
受取手形	17	24
売掛金	37,952	30,043
有価証券	27,407	31,102
商品及び製品	4,231	4,991
仕掛品	888	867
原材料及び貯蔵品	1,944	1,984
繰延税金資産	2,030	1,982
その他	1,995	1,702
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	90,791	88,182
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	11,053	13,040
構築物 (純額)	465	633
機械及び装置 (純額)	4,959	5,983
車両運搬具 (純額)	31	44
工具、器具及び備品 (純額)	385	518
土地	14,723	17,556
リース資産 (純額)	44	32
建設仮勘定	1	311
有形固定資産合計	31,661	38,116
無形固定資産		
借地権	6	6
商標権	6	7
電話加入権	44	45
施設利用権	0	0
ソフトウェア	2,056	2,221
ソフトウェア仮勘定	59	270
無形固定資産合計	2,170	2,549
投資その他の資産		
投資有価証券	52,992	42,148
関係会社株式	42,637	41,628
出資金	39	39
関係会社出資金	1,463	1,155
従業員に対する長期貸付金	6	7
関係会社長期貸付金	2,581	3,450
長期前払費用	157	216
差入保証金	1,161	1,147
長期預金	2,300	2,000
前払年金費用	4,936	5,581
その他	60	62
貸倒引当金	△207	△207
投資その他の資産合計	108,123	97,225
固定資産合計	141,953	137,890
資産合計	232,745	226,072

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,486	2,158
買掛金	13,452	10,803
関係会社短期借入金	10,172	7,311
リース債務	12	9
未払金	10,591	10,881
未払費用	1,136	1,896
未払法人税等	2,729	2,189
預り金	597	116
役員賞与引当金	45	58
債務保証損失引当金	—	92
その他	782	394
流動負債合計	41,004	35,908
固定負債		
リース債務	32	23
長期預り保証金	268	268
長期未払金	639	650
繰延税金負債	2,178	2,254
資産除去債務	51	—
固定負債合計	3,168	3,196
負債合計	44,172	39,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金		
資本準備金	23,815	23,815
資本剰余金合計	23,815	23,815
利益剰余金		
利益準備金	2,487	2,487
その他利益剰余金		
別途積立金	133,900	133,900
繰越利益剰余金	15,961	15,489
利益剰余金合計	152,348	151,876
自己株式	△1	△1,326
株主資本合計	186,111	184,314
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,462	2,655
評価・換算差額等合計	2,462	2,655
純資産合計	188,573	186,968
負債純資産合計	232,745	226,072

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

【第3四半期累計期間】 (参考) (個別)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	(参考)前事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
売上高	126,917	120,196	161,680
売上原価	60,537	56,898	77,530
売上総利益	66,379	63,298	84,150
販売費及び一般管理費			
広告宣伝費	8,050	7,591	10,919
運送費及び保管費	4,259	3,600	5,428
販売手数料	3,862	3,467	4,876
販売促進費	19,624	18,161	25,440
役員報酬	182	182	239
給料手当及び賞与	6,120	6,434	8,251
役員賞与引当金繰入額	47	45	58
退職給付費用	1,487	1,188	1,985
福利厚生費	1,323	1,432	1,802
旅費及び通信費	1,039	1,014	1,371
減価償却費	600	669	817
賃借料	851	835	1,144
試験研究費	2,483	2,378	3,312
調査費	641	610	857
その他	3,889	4,027	5,119
販売費及び一般管理費合計	54,457	51,634	71,618
営業利益	11,922	11,664	12,532
営業外収益			
受取利息	72	67	94
有価証券利息	207	278	274
受取配当金	800	1,204	1,020
受取賃貸料	164	176	223
その他	119	108	210
営業外収益合計	1,362	1,834	1,822
営業外費用			
支払利息	6	24	13
賃貸費用	60	61	77
為替差損	78	265	64
その他	13	7	14
営業外費用合計	156	358	168
経常利益	13,128	13,140	14,186

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	(参考)前事業年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
特別利益			
固定資産売却益	6	29	15
貸倒引当金戻入額	3	1	2
債務保証損失引当金戻入額	—	92	—
その他	—	4	—
特別利益合計	8	127	17
特別損失			
固定資産売却損	—	44	18
固定資産除却損	155	50	188
投資有価証券評価損	841	5	799
会員権評価損	59	3	60
減損損失	7	—	345
債務保証損失引当金繰入額	—	—	92
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	44	—
その他	34	4	74
特別損失合計	1,096	151	1,576
税引前四半期(当期)純利益	12,040	13,116	12,627
法人税、住民税及び事業税	4,570	4,924	5,001
四半期(当期)純利益	7,470	8,193	7,626

【第3四半期会計期間】 (参考) (個別)

(単位: 百万円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	46,078	44,263
売上原価	21,684	20,712
売上総利益	24,394	23,551
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,849	2,548
運送費及び保管費	1,443	1,221
販売手数料	1,341	1,238
販売促進費	7,104	6,528
役員報酬	58	61
給料手当及び賞与	2,054	2,028
役員賞与引当金繰入額	16	15
退職給付費用	496	383
福利厚生費	499	533
旅費及び通信費	328	313
減価償却費	213	231
賃借料	281	285
試験研究費	833	803
調査費	213	187
その他	1,381	1,339
販売費及び一般管理費合計	19,109	17,714
営業利益	5,285	5,837
営業外収益		
受取利息	24	22
有価証券利息	63	132
受取配当金	21	15
受取賃貸料	56	59
為替差益	29	—
その他	44	45
営業外収益合計	236	272
営業外費用		
支払利息	2	8
賃貸費用	18	19
為替差損	—	95
その他	1	4
営業外費用合計	21	126
経常利益	5,500	5,983

(単位：百万円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	2	29
貸倒引当金戻入額	△ 1	—
投資有価証券評価損戻入益	—	467
その他	—	3
特別利益合計	1	499
特別損失		
固定資産売却損	—	35
固定資産除却損	29	22
投資有価証券評価損	841	5
会員権評価損	13	0
その他	2	—
特別損失合計	885	63
税引前四半期純利益	4,617	6,419
法人税、住民税及び事業税	1,748	2,399
四半期純利益	2,868	4,020

5. 補足情報

(1) 業績の状況

① 連結

(単位：百万円)

	10.3期第3四半期 累計期間		11.3期第3四半期 累計期間	
	金額	前期比	金額	前期比
売上高	172,704	98.9%	168,719	97.7%
営業利益	11,422	105.7%	11,297	98.9%
経常利益	12,107	105.9%	11,747	97.0%
四半期(当期)純利益	6,144	110.6%	6,526	106.2%

10.3期 通期		11.3期 通期目標	
金額	前期比	金額	前期比
220,622	99.1%	217,000	98.4%
10,964	107.5%	10,300	93.9%
12,187	110.9%	11,200	91.9%
4,820	102.0%	4,900	101.7%

《事業セグメント別売上高・営業利益の状況》

売上高	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	100,345	58.1%	98,298	58.3%
健康食品事業	38,272	22.2%	40,492	24.0%
海外事業	7,368	4.3%	7,957	4.7%
運送事業他	26,719	15.5%	21,972	13.0%

金額	構成比	金額	構成比
128,688	58.3%	126,895	58.5%
47,795	21.7%	51,364	23.7%
10,004	4.5%	11,269	5.2%
34,135	15.5%	27,472	12.6%

営業利益	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	10,311	90.3%	9,812	86.9%
健康食品事業	805	7.0%	1,046	9.3%
海外事業	390	3.4%	411	3.6%
運送事業他	△75	-0.7%	13	0.1%
その他連結調整等	△9	-	15	-

金額	構成比	金額	構成比
11,482	104.7%	9,876	95.9%
△640	-5.8%	9	0.1%
418	3.8%	531	5.2%
△323	-2.9%	△116	-1.1%
27	-	-	-

《製品類別売上高の状況》

	金額	構成比	金額	構成比
香辛食品類	48,538	28.1%	48,626	28.8%
加工食品類	26,431	15.3%	25,048	14.8%
調理済食品類	30,027	17.4%	29,878	17.7%
飲料・スナック類他	58,649	34.0%	55,039	32.6%
食料品	163,645	94.8%	158,591	94.0%
運送・倉庫業他	9,059	5.2%	10,128	6.0%

金額	構成比	金額	構成比
62,171	28.2%	62,400	28.8%
33,275	15.1%	32,200	14.8%
38,883	17.6%	39,100	18.0%
74,439	33.7%	70,500	32.5%
208,768	94.6%	204,200	94.1%
11,854	5.4%	12,800	5.9%

② 個別

(単位：百万円)

	10.3期第3四半期 累計期間		11.3期第3四半期 累計期間	
	金額	前期比	金額	前期比
売上高	126,917	100.3%	120,196	94.7%
営業利益	11,922	102.0%	11,664	97.8%
経常利益	13,128	100.2%	13,140	100.1%
四半期(当期)純利益	7,470	104.1%	8,193	109.7%

10.3期 通期		11.3期 通期目標	
金額	前期比	金額	前期比
161,680	99.9%	156,000	96.5%
12,532	104.9%	12,000	95.8%
14,186	102.3%	13,900	98.0%
7,626	102.7%	8,100	106.2%

《製品類別売上高の状況》

	金額	構成比	金額	構成比
香辛食品類	47,893	37.7%	47,849	39.8%
加工食品類	26,431	20.8%	25,048	20.8%
調理済食品類	17,555	13.8%	16,843	14.0%
飲料・スナック類他	35,038	27.6%	30,457	25.3%

金額	構成比	金額	構成比
61,305	37.9%	61,400	39.4%
33,275	20.6%	32,200	20.6%
22,310	13.8%	21,900	14.0%
44,790	27.7%	40,500	26.0%

(2) 連結損益計算書の状況

① 連結損益計算書

(単位：百万円)

	10.3期第3四半期 累計期間	11.3期第3四半期 累計期間	対前年同期増減
売上高	172,704	168,719	△ 3,985
売上原価 (売上原価率)	92,146 (53.35%)	89,952 (53.31%)	△ 2,194
販売費・一般管理費	69,136	67,470	△ 1,666
広告宣伝費	9,041	8,492	△ 549
運送費及び保管費	4,957	4,804	△ 154
販売手数料	3,862	3,467	△ 395
販売促進費	24,008	23,354	△ 654
人件費	13,012	13,209	197
試験研究費	2,921	2,789	△ 132
のれん償却額	3,091	3,091	△ 1
営業利益	11,422	11,297	△ 125
営業外収益	837	1,005	169
営業外費用	152	556	405
経常利益	12,107	11,747	△ 361
特別利益	262	184	△ 77
特別損失	1,227	344	△ 883
税金等調整前四半期純利益	11,142	11,587	445
法人税等	4,957	5,115	158
少数株主損益調整前四半期純利益	—	6,472	—
少数株主利益(△は損失)	42	△ 53	△ 95
四半期純利益	6,144	6,526	382

② 営業外損益の主な増減内容

(単位：百万円)

	10.3期第3四半期 累計期間	11.3期第3四半期 累計期間	対前年同期増減
受取利息・有価証券利息	246	308	62
受取配当金	210	252	42
持分法による投資利益	226	290	64
その他(賃貸物件収益等)	155	156	1
営業外収益計	837	1,005	169
支払利息	30	26	△ 4
為替差損	85	481	396
その他(賃貸物件費用等)	37	49	13
営業外費用計	152	556	405

③ 特別損益の主な増減内容

(単位：百万円)

	10.3期第3四半期 累計期間	11.3期第3四半期 累計期間	対前年同期増減
固定資産売却益	45	30	△ 15
移転補償差益	204	—	△ 204
持分変動利益	—	51	51
債務保証損失引当金戻入額	—	92	92
貸倒引当金戻入額	3	—	△ 3
その他	10	11	1
特別利益計	262	184	△ 77
固定資産売却損	—	47	47
固定資産除却損	250	81	△ 169
投資有価証券評価損	841	6	△ 835
会員権評価損	59	3	△ 56
固定資産減損損失	7	—	△ 7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	177	177
その他	70	30	△ 40
特別損失計	1,227	344	△ 883

④ 営業利益の主な増減要因（前年同期比較）

（単位：百万円）

売上総利益の減少	△ 1,791
人件費の増加	△ 197
マーケティングコスト（広告宣伝費、販売手数料、販売促進費合計）の減少	1,598
運送費及び保管費の減少	154
試験研究費の減少	132

(3) 連結貸借対照表の状況

① 連結貸借対照表の主な増減内容

（単位：百万円）

	10.3期末		11.3期第3四半期 会計期間末		対前期末 増減 金額	主な増減内容
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	102,507	44.2%	104,656	44.7%	2,149	受取手形及び売掛金の増加 9,251 有価証券の減少 △4,396 現金及び預金の減少 △1,442 商品及び製品の減少 △1,343
固定資産	129,420	55.8%	129,225	55.3%	△ 195	有形固定資産の減少 △7,301 のれんの減少 △3,092 前払年金費用の減少 △645 投資有価証券の増加 11,051
資産合計	231,927	100.0%	233,881	100.0%	1,954	
流動負債	39,276	16.9%	41,925	17.9%	2,650	支払手形及び買掛金の増加 2,671
固定負債	10,023	4.3%	9,701	4.1%	△ 322	退職給付引当金の減少 △264 リース債務の減少 △174 繰延税金負債の減少 △76 資産除去債務の増加 280
負債合計	49,299	21.3%	51,627	22.1%	2,328	
評価・換算 差額等合計	1,290	0.6%	714	0.3%	△ 576	為替換算調整勘定の減少 △361 その他有価証券評価差額金の減少 △215
少数株主持分	353	0.2%	425	0.2%	72	
純資産合計	182,628	78.7%	182,254	77.9%	△ 374	
負債純資産合計	231,927	100.0%	233,881	100.0%	1,954	

(4) 連結キャッシュ・フローの状況

① 連結キャッシュ・フローの増減内容

（単位：百万円）

	10.3期第3四半期 累計期間	11.3期第3四半期 累計期間	対前年同期増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,750	9,802	2,053
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,972	△ 5,499	△ 527
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,591	△ 6,518	△ 3,927
現金及び現金同等物四半期末残高	41,787	42,017	230

(5) 通期目標

① 連結

(単位：百万円)

	10.3期	11.3期 目標	対前期増減
《事業セグメント別》			
香辛・調味加工食品事業	128,688	126,895	△ 1,793
健康食品事業	47,795	51,364	3,569
海外事業	10,004	11,269	1,265
運送事業他	34,135	27,472	△ 6,663
《製品類別》			
香辛食品類	62,171	62,400	229
加工食品類	33,275	32,200	△ 1,075
調理済食品類	38,883	39,100	217
飲料・スナック類他	74,439	70,500	△ 3,939
運送・倉庫業他	11,854	12,800	946
売上高	220,622	217,000	△ 3,622
売上原価 (売上原価率)	118,622 (53.77%)	116,100 (53.50%)	△ 2,522 (△0.27%)
販売費・一般管理費	91,036	90,600	△ 436
広告宣伝費	12,324	12,279	△ 44
販売手数料	4,876	4,711	△ 165
販売促進費	31,010	30,168	△ 842
のれん償却額	4,121	4,121	△ 0
営業利益	10,964	10,300	△ 664
経常利益	12,187	11,200	△ 987
当期純利益	4,820	4,900	80

② 個別

(単位：百万円)

	10.3期	11.3期 目標	対前期増減
《製品類別》			
香辛食品類	61,305	61,400	95
加工食品類	33,275	32,200	△ 1,075
調理済食品類	22,310	21,900	△ 410
飲料・スナック類他	44,790	40,500	△ 4,290
売上高	161,680	156,000	△ 5,680
売上原価 (売上原価率)	77,530 (47.95%)	74,100 (47.50%)	△ 3,430 (△0.45%)
販売費・一般管理費	71,618	69,900	△ 1,718
広告宣伝費	10,919	10,938	19
販売手数料	4,876	4,711	△ 165
販売促進費	25,440	23,717	△ 1,723
営業利益	12,532	12,000	△ 532
経常利益	14,186	13,900	△ 286
当期純利益	7,626	8,100	474

(6) 設備投資の状況

①連 結

(単位：百万円)

	10.3期第3四半期 累計期間	11.3期第3四半期 累計期間	10.3期 通期	11.3期 通期目標
設 備 投 資	3,443	2,030	4,734	4,900
リ ー ス	362	297	424	600
合 計	3,805	2,328	5,158	5,500

②個 別

(単位：百万円)

	10.3期第3四半期 累計期間	11.3期第3四半期 累計期間	10.3期 通期	11.3期 通期目標
設 備 投 資	1,953	975	2,716	2,200
リ ー ス	130	157	158	300
合 計	2,083	1,133	2,874	2,500

(7) 減価償却費の状況

①連 結

(単位：百万円)

	10.3期第3四半期 累計期間	11.3期第3四半期 累計期間	10.3期 通期	11.3期 通期目標
減 価 償 却 費	4,491	4,201	6,102	5,800
支 払 リ ー ス 料	634	431	824	600
合 計	5,125	4,632	6,926	6,400

②個 別

(単位：百万円)

	10.3期第3四半期 累計期間	11.3期第3四半期 累計期間	10.3期 通期	11.3期 通期目標
減 価 償 却 費	2,777	2,577	3,771	3,500
支 払 リ ー ス 料	316	244	405	300
合 計	3,092	2,821	4,176	3,800

※売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めております。

(8) 主なグループ会社の状況

	10.3期第3四半期 累計期間	11.3期第3四半期 累計期間	10.3期
連 結 子 会 社 数	16 社	16 社	16 社
持分法適用関連会社数	5 社	6 社	5 社

【11.3期第3四半期累計期間主要子会社の業績】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	四半期純利益	総資産	純資産
ハウスウェルネスフーズ(株)	26,665	1,864	2,012	15,778	7,449
ハウス物流サービス(株)	17,982	394	231	11,615	4,917
(株) デリカシェフ	9,779	△ 201	△ 321	3,607	486
サンハウス食品(株)	5,849	264	159	5,606	3,863
ハウスフーズアメリカCorp.	4,342	273	165	2,819	2,387

(9) 主要経営指標等

① 連結

	11.3期第3四半期 累計期間	10.3期
一株当たり四半期(当期)純利益	59.81 円	43.91 円
一株当たり純資産	1,703.09 円	1,660.57 円
自己資本当期純利益率	—	2.7 %
総資産経常利益率	—	5.3 %
売上高経常利益率	7.0 %	5.5 %
総資本回転率	—	0.96 回
流動比率	249.6 %	261.0 %
固定比率	71.1 %	71.0 %
負債比率	28.4 %	27.1 %
自己資本比率	77.7 %	78.6 %
従業員数	4,516 人	4,335 人

◎休職者・嘱託・パートを含みません。

② 個別

	11.3期第3四半期 累計期間	10.3期
一株当たり四半期(当期)純利益	75.09 円	69.47 円
一株当たり純資産	1,766.25 円	1,703.33 円
自己資本当期純利益率	—	4.2 %
総資産経常利益率	—	6.5 %
売上高経常利益率	10.9 %	8.8 %
総資本回転率	—	0.74 回
流動比率	221.4 %	245.6 %
固定比率	75.3 %	73.8 %
負債比率	23.4 %	20.9 %
自己資本比率	81.0 %	82.7 %
配当金(1株当たり)	—	22.00 円
配当性向	—	31.7 %
従業員数	2,182 人	2,152 人

◎休職者・嘱託・パートを含みません。